

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月15日

上場取引所 大

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社
 コード番号 2411 URL <http://www.gendai-a.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 正卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高 秀一

TEL 03-5308-9888

四半期報告書提出予定日 平成23年7月29日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,561	△29.8	240	△52.5	241	△52.6	238	△16.0
23年3月期第1四半期	5,072	△4.3	505	△25.8	509	△24.9	283	△18.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 237百万円 (△15.5%) 23年3月期第1四半期 281百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2,563.20	—
23年3月期第1四半期	2,994.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,576	4,612	59.6
23年3月期	7,917	4,896	57.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,518百万円 23年3月期 4,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2,700.00	—	2,800.00	5,500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,530	△24.7	538	△44.8	530	△46.1	390	△27.5	4,193.55
通期	16,230	△15.2	1,307	△22.2	1,300	△22.8	840	△0.3	9,032.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年7月15日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	93,000 株	23年3月期	93,000 株
24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期1Q	93,000 株	23年3月期1Q	94,784 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年4月15日に公表いたしました連結業績予想(第2四半期累計および通期)を本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
4. 補足情報	7
(1) 生産実績	7
(2) 受注状況	7
(3) 販売実績	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

《当期の経営成績》

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災や原子力発電所事故により、製造業、非製造業ともに国内企業の生産や輸出が大幅に減少しました。また、震災に伴う消費マインドの悪化や風評被害の影響により、景気の現状は依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、震災に伴う個人消費低迷の影響を受け、依然として厳しい状況が続いております。また、震災直後の営業時間短縮や、その震災後の当面の新台幣入替自粛や広告活動自粛等の様々な要因により、ホール企業の経営環境は大きく変化いたしました。

こうした環境下で、当社グループでは、主力の広告事業においては、震災による影響が少なかった中部以西のエリアにおいて人的資源を適切に配分し、営業活動を強化してまいりました。しかしながら、東日本のホール企業を中心に広告自粛の影響が大きく、広告需要の消失を穴埋めするには至りませんでした。また、中古遊技機売買仲介事業においては、震災に伴う遊技機の新台販売延期や入替自粛等により、取引が停滞しました。

その結果、当第1四半期の売上高は3,561百万円（前年同期比 $\Delta 29.8\%$ 減）、営業利益は240百万円（同 $\Delta 52.5\%$ 減）、四半期純利益は238百万円（同 $\Delta 16.0\%$ 減）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(広告事業)

当第1四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場は、震災発生後のパチンコホール業界における当面の広告活動自粛の影響により、広告需要は急減いたしました。

こうした環境下において、当社は、震災の影響で業務停止を余儀なくされていた仙台営業所及び郡山営業所については、早期に営業所機能の回復をはかることにより、本年5月2日より業務を再開し、クライアントの復興を支援してまいりました。また、広告需要の回復が早かった中部以西エリアにおいては、営業活動を強化し、取引店舗数の増加に努めてまいりました。さらに、モバイル、ウェブといったプル型のメディアを利用した告知に注目し、パチンコホールモバイル告知ツール「Mobavia」をはじめとしたモバイル・ウェブサービスの拡充と拡販を積極的にすすめてまいりました。

しかしながら、震災に伴う広告需要の急減の影響を埋め合わせるまでには至らず、広告事業の売上高は3,401百万円（前年同期比 $\Delta 29.7\%$ 減）となりました。また、売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益は327百万円（同 $\Delta 52.0\%$ 減）となりました。

(中古遊技機売買仲介事業)

当第1四半期連結累計期間の中古遊技機流通市場は、震災の影響で遊技機の新台販売延期や遊技機の入替自粛が行われたため、極めて低調に推移いたしました。

こうした環境下において連結子会社の(株)バリュー・クエスト（以下、VQ社）では、会員制の中古遊技機情報サービス「VQnet」における付加価値を高める施策を積極的に推進してまいりました。「VQnet」の会員向けに展開しました在庫管理システム「VQ在庫」の利便性を向上をさせるため、継続的な機能改善を行なうとともにQRコードリーダーによる管理機能や資産管理機能などのオプションサービスを付加いたしました。また、より迅速な中古遊技機売買の仲介を実現する取引フロー改善や、中古遊技機配送を低価格で実現する運送サービスの提供を始めるなど顧客ニーズに応えるサービス開発を進めてまいりました。さらに厳しい環境下においても利益が確保できる収益構造の確立に向け、継続的なコスト削減を実施してまいりました。

しかしながら、中古遊技機売買の大幅な減少の影響を吸収しきれず、当第1四半期の成約台数は12千台（前年同期比 $\Delta 42.4\%$ 減）となり、中古遊技機売買仲介事業の売上高は123百万円（同 $\Delta 34.0\%$ 減）となったものの、固定費削減効果によりセグメント利益は $\Delta 2$ 百万円の損失（前年同期は $\Delta 53$ 百万円の損失）となりました。

(不動産事業)

当第1四半期連結累計期間においては、連結子会社の(株)ランドサポート（以下、LS社）において、既契約で継続中の2件の賃貸案件以外で新規に成約した案件はありませんでした。

その結果、不動産事業の売上高は36百万円（前年同期比 $\Delta 20.1\%$ 減）、セグメント利益は14百万円（同 $\Delta 36.4\%$ 減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期末における総資産は7,576百万円となり、前連結会計年度末比△341百万円の減少となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が199百万円増加する一方で、納税、配当等により現金及び預金が△530百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は2,964百万円となり、前連結会計年度末比△57百万円の減少となりました。これは、買掛金が205百万円増加する一方で、短期借入金が△200百万円、未払法人税等が△176百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は4,612百万円となり、前連結会計年度末比△283百万円の減少となりました。これは、四半期純利益238百万円を計上する一方、利益配当△260百万円およびVQ社における剰余金の処分に伴う少数株主持分の減少△252百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年4月15日付当社「平成23年3月期決算短信」にて発表いたしました平成24年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細は本日別途開示する、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更、修正再表示

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,489	2,958
受取手形及び売掛金	1,702	1,901
有価証券	301	300
繰延税金資産	26	35
未取還付法人税等	—	128
その他	184	107
貸倒引当金	△7	△3
流動資産合計	5,697	5,428
固定資産		
有形固定資産	935	929
無形固定資産	237	227
投資その他の資産	1,048	991
固定資産合計	2,220	2,148
資産合計	7,917	7,576
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	900	1,106
短期借入金	200	—
1年内返済予定の長期借入金	728	728
未払法人税等	202	26
中古遊技機売買取介顧客預り金	221	243
その他	211	358
流動負債合計	2,464	2,463
固定負債		
長期借入金	513	457
資産除去債務	26	26
その他	16	16
固定負債合計	556	500
負債合計	3,021	2,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	2,730	2,699
株主資本合計	4,545	4,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	4
その他の包括利益累計額合計	4	4
少数株主持分	346	93
純資産合計	4,896	4,612
負債純資産合計	7,917	7,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	5,072	3,561
売上原価	3,681	2,590
売上総利益	1,391	970
販売費及び一般管理費	885	730
営業利益	505	240
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	0	0
助成金収入	6	0
その他	0	1
営業外収益合計	11	7
営業外費用		
支払利息	5	5
その他	1	0
営業外費用合計	7	5
経常利益	509	241
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
前期損益修正益	1	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	0	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	0	—
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	512	240
法人税、住民税及び事業税	193	5
法人税等調整額	41	△3
法人税等合計	235	2
少数株主損益調整前四半期純利益	277	237
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△6	△0
四半期純利益	283	238

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	277	237
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	4	△0
その他の包括利益合計	4	△0
四半期包括利益	281	237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	288	238
少数株主に係る四半期包括利益	△6	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告事業	中古遊技機 売買取介事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	4,840	186	45	—	5,072	—	5,072
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,840	186	45	—	5,072	—	5,072
セグメント利益又は 損失(△)	681	△53	23	—	651	△146	505

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△146百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△146百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

	広告事業	中古遊技機 売買取介事業	不動産事業	その他事業	全社	合計
当期償却額(百万円)	—	35	—	—	—	35
当期末残高(百万円)	—	140	—	—	—	140

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告事業	中古遊技機 売買取介事業	不動産事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	3,401	123	36	3,561	—	3,561
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,401	123	36	3,561	—	3,561
セグメント利益又は 損失(△)	327	△2	14	339	△99	240

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△99百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△99百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
折込広告	2,267	65.5
販促物	756	90.4
媒体	148	56.9
その他	228	81.0
広告事業計	3,401	70.3
中古遊技機売買取介事業	123	66.0
不動産事業	36	79.9
合計	3,561	70.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。